

平成 28 年度 日本動物学会北海道支部 事業報告

報告：松島俊也（北海道大学理学研究院、理事・支部長）

今期、北海道支部は下記の第 61 回支部大会（旭川医大）と計 8 回の支部講演会を実施した。また第 62 回支部大会（北海道大学札幌キャンパス）の準備を進めた。

1. 第 61 回日本動物学会北海道支部大会

(ア) 日時：平成 28 年 8 月 27 日（土）09：15～17：30

(イ) 場所：旭川医科大学臨床講義棟

(ウ) 実施事務局：旭川大学解剖学講座（春見達郎会員）

(エ) プログラムの概要：大学院生による一般発表（12 件）、教員による一般発表（3 件）、および高校生による特別発表（7 件）を口頭講演によって実施した。参加者は高校生を含み約 50 名。

(オ) 大会の昼休みを利用して、平成 28 年度第一回支部役員会および支部総会を実施した。主な審議事項は、次期の庶務幹事・会計幹事等の選出に加え、2017 年度支部大会、2018 年度動物学会札幌大会に関する事項である。

(カ) 第一回支部役員会の概要は以下のとおりである。

- ① 出席者：荒井克俊，小川宏人，荻原克益，勝義直，木村敦，黒岩麻里，小谷友也，鈴木仁，西田義憲，春見達郎，林要喜知，増田隆一，松島俊也，山下正兼（欠席者：青沼仁志，相馬雅代，都木靖彰，高畑雅一，高久元，枅内新，西野浩史，松原創，三浦徹，水波誠，山羽悦郎，和多和宏）
- ② 報告事項：庶務報告。会計報告。次期庶務幹事と会計幹事について（以下の提案を承認した）。
 1. 2016 年度 庶務幹事：春見達郎（東部）、会計幹事：柁原宏（札幌）
 2. 2017 年度 庶務幹事：小川宏人（札幌）、会計幹事：小谷友也（札幌）
- ③ 2017 年度支部大会について：恒例により 2017 年 8 月に札幌地区（北海道大学札幌キャンパス）で実施する。開催日については、高校教員にアンケート調査を実施して最終調整することとする。
- ④ 2018 年動物学会本大会について：山下正兼会員（平成 26・27 年度支部長）および小川宏人会員より、本大会に関する予算案とプログラム案の説明があり、承認された。2018 年 9 月 13 日（木）から 15 日（土）、札幌コンベンションセンターにて開催する予定。山下前支部長を大会長委員長、松島現支部長を総務として、主に北海道大学に所属する会員が実行委員会を組織する。

2. 北海道支部講演会

(ア) 第 566 回支部講演会

- ① 平成 28 年 7 月 8 日 17 : 00~
- ② 北海道大学理学部 5 号館
- ③ 演者 : 三浦 恭子 (北海道大学 遺伝子病制御研究所)
- ④ 演題 : 長寿・がん化耐性動物 ハダカデバネズミ由来 iPS 細胞の腫瘍化耐性機構

(イ) 第 567 回支部講演会

- ① 平成 28 年 9 月 15 日 17 : 00~
- ② 北海道大学理学部 5 号館
- ③ 演者 : 齋藤 茂 (岡崎統合バイオサイエンスセンター、生理学研究所)
- ④ 演題 : 脊椎動物における温度センサー分子の機能的な種間多様性とその適応的な役割

(ウ) 第 568 回支部講演会

- ① 平成 28 年 11 月 28 日 17 : 00~
- ② 北海道大学理学部 5 号館
- ③ 演者 : Mark Lokman (University of Otago, New Zealand)
- ④ 演題 : Anticipating long-distance migration in the eel – a role for steroid hormones

(エ) 第 569 回支部講演会

- ① 平成 29 年 1 月 23 日 16 : 30~
- ② 北海道大学人文社会科学総合教育研究棟 W103
- ③ 演者 : Friederike Range (University of Veterinary Medicine Vienna)
- ④ 演題 : The evolution of cooperation: lesson from intraspecific canine cooperation

(オ) 第 570 回支部講演会

- ① 平成 29 年 2 月 20 日 17 : 00~
- ② 北海道大学理学部 5 号館 813 号室
- ③ 演者 : 設楽 久志 (慶應義塾大学大学院 基礎理工学専攻)
- ④ 演題 : cGMP イメージングによる線虫嗅覚神経細胞 AWC の部位特異的応答

(カ) 第 571 回支部講演会

- ① 平成 29 年 4 月 13 日 17 : 00~
- ② 北海道大学理学部 5 号館 813 号室
- ③ 演者 : 網田英敏 (Laboratory of Sensorimotor Research, National Institute of Health, Maryland USA)
- ④ 演題 : なぜ好きなものに目がいくのか? Basal ganglia guide saccadic eye

movement to historically good objects

(キ) 第 572 回支部講演会

- ① 平成 29 年 4 月 25 日 17 : 30~
- ② 旭川医科大学教育研究推進センター 3 階カンファレンスルーム
- ③ 演者 : 石島純夫 (東京工業大学生命理工学院)
- ④ 演題 : 微小管の滑りによる精子鞭毛の運動機構とその制御

(ク) 第 573 回支部講演会

- ① 平成 29 年 6 月 27 日 17 : 30~
- ② 北海道大学理学部 5 号館 8-813 号室
- ③ 演者 : 後藤寛貴 (名古屋大学生命農学研究科)
- ④ 演題 : クワガタムシにおける大顎の性的二型の発生制御機構

3. 平成 29 年度支部大会準備

(ア) 8 月 26 日 (土) に予定されている支部大会への参加を、理科教育に関わる北海道内の高等学校の先生方へ呼びかける資料を、春見達郎 (28 年度庶務幹事) と共に作成し、道内の主だった高等学校に配布。活動的な高校に関する情報は黒岩麻里会員の協力を得た。

(イ) 小川宏人 (29 年度庶務幹事) に依頼し支部大会の会場 (北海道大学理学部) と備品 (ポスターボード等) を確保し、事務的な準備を始めた。

(ウ) 昨年度の支部大会決算記録に基づき、概ねの予算を会計幹事 (28 年度、29 年度) と共に検討した。30 年夏は本大会 (第 89 回札幌大会) を開くことを念頭に支部大会は開催しない。それに伴い長期的な見通しをもって、支部の予算を検討することとした。

(エ) 7 月上旬をめどに支部大会参加の呼びかけを始めることとした。